

# P2M セミナー開催のご案内

(主催) 一般社団法人 国際 P2M 学会 (共催) 早稲田大学 環境総合研究センター

(後援) 特定非営利活動法人日本プロジェクトマネジメント協会、 独立行政法人 環境再生保全機構

P2M (Project & Program Management) は、企業、官公庁、非営利団体、病院、教育機関など、幅広い分野で新たな価値を創造する知識体系です。VUCA (変動、不確実、複雑、曖昧) の時代と言われる現代、その真価が発揮されます。本セミナーでは、CE (循環型経済) や SDGs をテーマに、その適用方法を、実務家から研究者、学生など、産官学民の様々な分野の方々を対象に、分かりやすく解説します。実践のみならず学術研究にも有用な無料セミナーですので、是非、この機会にお気軽にご参加下さい。

- ◆ 日時： 2024 年 7 月 22 日 (月) 18:30-20:05
- ◆ 会場： 早稲田大学 早稲田キャンパス 11 号館 8 階-820 室 ※エスカレーターをご利用下さい。  
(アクセスマップ：<https://qr.paps.jp/7FP7v>) (キャンパスマップ：<https://qr.paps.jp/Abidg>)
- ◆ 参加費：無料 ◆ 対象者：ご関心のある方 (非会員を含む)。 ◆ 定員：45 名

## 【プログラム】

(各講演には質疑の時間を含みます。講演時間や内容を変更する場合があります。)

18:30-18:35 **開会挨拶** (本セミナー開催の趣旨説明)

国際 P2M 学会 会長：亀山秀雄 ((独)環境再生保全機構)

18:35-19:20 **「循環型経済(CE)と P2M」**

講師：玉木欽也 (青山学院大学 経営学部 経営学科 教授)

[概要] エレン・マッカーサー財団に端を発する「Circular Economy (CE、循環型経済)」という考え方が欧州委員会に受け継がれ、EU を中心に「CE 政策」として提言されている。その政策として、廃棄物の削減および汚染を生み出さない製品サービスのデザインを目指す具体的な規則や法令案の枠組みづくりが進展している。EU における CE 先進企業では、新たな経営戦略やビジネスモデルとして、CE 経営に取り組んでいるところが増えてきた。その特色は、異業種連携によるバリューチェーンマネジメントの創造が求められることである。そのための組織マネジメントとして、いかに P2M が関わって聞くべきかについて解説する。

19:20-20:05 **「SDGs 未来都市と P2M」**

講師：大和田順子 (OCC 教育テック総合研究所上級研究員、早稲田大学招聘研究員)

[概要] 自治体がいかに独自の視点で SDGs に取り組み、成果を挙げていくか。内閣府が 2018 年から開始した「SDGs 未来都市」では 2024 年までの 7 年間で計 207 自治体 (一部県も含む) が認定された。事例に FAO・世界農業遺産認定地域で 2022 年認定の宮城県大崎市、2024 年認定の和歌山県みなべ町の計画や取組を取り上げる。いずれもモデル事業にも選定されているが、大崎市は「ネイチャー・ポジティブ定量化」、みなべ町は OECD ラーニングコンパス 2030 に準拠した「みなべ梅ラーニングコモンズ」を提案した。「SDGs 未来都市」の計画策定およびマネジメントに、いかに P2M 理論を導入しているか、解説する。

- ◆ 参加申込登録：こちら (<https://qr.paps.jp/uJwnf>) から 7 月 18 日(木)迄にお申し込みください。
- ◆ 問合せ先：国際 P2M 学会 セミナー委員会 久保裕史 ([hiroshi.kubo@kubo-labo.com](mailto:hiroshi.kubo@kubo-labo.com))  
早稲田大学環境総合研究センターP2M 研究会 李洸昊 ([lee-kwangho@aoni.waseda.jp](mailto:lee-kwangho@aoni.waseda.jp))

## P2M と学会についての参考情報

国際 P2M 学会のホームページには、様々な有用コンテンツが満載されています。以下に主な項目を挙げますので、ぜひご覧下さい。いずれも無料で閲覧できます。

- ・ 国際 P2M 学会ホームページ : <http://www.iap2m.org/>
- ・ P2M とは (概要とコンセプト) : <http://www.iap2m.org/p2mconcept/>
- ・ セミナー動画(基礎から応用まで) : <http://www.iap2m.org/youtube/>
- ・ 過去の論文 (J-stage) : <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/iappmjour/-char/ja>
- ・ P2M マガジン (J-stage) : <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/iaptwombulletin/list/-char/ja>
- ・ 研究発表大会開催案内(2024 年春の例) : [http://www.iap2m.org/pdf/IAP2M\\_2024\\_spring\\_CFP\(v6\).pdf](http://www.iap2m.org/pdf/IAP2M_2024_spring_CFP(v6).pdf)
- ・ 論文投稿規程 : [http://www.iap2m.org/pdf/IAP2MSubmissionGuideline\\_230306.pdf](http://www.iap2m.org/pdf/IAP2MSubmissionGuideline_230306.pdf)
- ・ 論文投稿の手順 : [http://www.iap2m.org/process\\_of\\_paper/](http://www.iap2m.org/process_of_paper/)
- ・ 学会入会案内 : <http://www.iap2m.org/accept/>
- ・ よくあるご質問 : <http://www.iap2m.org/faq-01/>

以上